

講義名	グローバル競争論			授業形態	
担当教員	李 東浩	開講期・曜日・時限		後期 水曜日 3 時限	
		単位数	2	履修開始年次	1 年生
		ナンバリング・コード		MAN181	

主題と概要
本授業は双方向・多方向的な授業である。 本授業は独自開発した「ファイブ・モジュール」考える学習型授業教育法を実施する。 本授業の実施方法の詳細について以下を参照してください。 李東浩（2017）「学生の心を掴む生きた教育—教学双方の意識転換によるアクティブラーニング—」『流通科学大学高等教育推進センター紀要』第 2 号 pp.75-104（30頁）。 ちなみに、本ゼミの実施方法の詳細について以下を参照してください。 李東浩（2018）「学部ゼミ運営に関する一横断—「楽しく頑張る」から「ひとづくり」—」『流通科学大学高等教育推進センター紀要』第 3 号 pp. 1-19（19頁）。 大学教育改革に関する論文も公開しており、以下を参照してください。 李東浩（2022）「大学教育の進化と変革—レスポンの活用とコロナ対策のオンライン教育の実像—」『流通科学大学高等教育推進センター紀要』第 7 号 pp. 119-134（16頁）。 李東浩（2023）「学習能力の形成と進化 — 知の定着、深化と探索のパラダイム —」『流通科学大学高等教育推進センター紀要』第 8 号 pp. 107-121（15頁）。 真面目な学生・本気に勉強の意欲がある学生は強く勧める。 毎回、面白いビデオがある。

到達目標
1. 履修生は、グローバル競争論を学ぶものにとって当然知っておべき知識を習得できるようになる。グローバル競争論の基本理論を紹介するとともにケーススタディ（事例研究）をも取り上げるので、理論と実例とをバランスよく理解できるようになる。 2. 履修生は、本講義を学ぶことによって、日常に企業に触れたり、企業に関する新聞記事を読んだり、ニュースを聞いて、グローバル競争的な側面から評価し、レポートにまとめることができるようになる。 3. 本授業で得られたグローバル競争論の理論とケースの知識・能力を身に付け、初歩的なグローバル競争に関する経営計画を作成できるようになる。 具体的に、 （1）知識・能力・資格を身につける。 卒業を通して、グローバルになりつつある中で、歴史的に世界のリーダー格になった・なりつつある国々及び地域的な巨大な影響力を有する国々の過去・現在・将来を地政学・経営学・経済学・社会学といった多面的な視点から説明する。受講者の正しい世界観、歴史観、国際関係観を形成できるようにする。 （2）思考力・判断力・表現力を向上する。 論理的に基本的な概念・理論と方法を学ぶだけではなく、毎回の授業に実際の企業の事例をも取り上げ、ビデオも活用しながら、理論と実例とをバランスよく理解できる。ただ単に授業内容とビデオを聞く・見るだけではなく、考えて、判断、討論、発言、考え直し、まともに、といった一連の仕組みで毎回、知識と能力が身につけることを実感できるようにする。

提出課題
1. 各自事前に、以下4つを使用できるように準備しておいてください。 リュウカポータル、 アウトlook mail＋、 レスポシ、 キャンパスクロス などの使用方法等を熟知・理解し、毎回課題を提出できるように準備してください。 2. 毎回レスポシ課題と期末試験（レスポシ課題提出式）の提出があるので、作成要領等の指示に従い、〆切期間中に提出してください。 ただし、単位判定対象となるのは、期末試験（レスポシ課題提出式）の1回分のみである。 3. それ以外の回では、レスポシ課題は自由提出になる。成績に影響を与えない。 ただし、学習勉強と自己成長の効果を高めるため、毎回の提出を勧める。 期末試験（レスポシ課題提出式）の準備段階としても、多大な価値があるので、毎回の提出を勧める。 4. 毎回、発言と討論の時間はある。1分前後の発言がある場合、プラス〆2点を与える。留学生も含めた履修者全員、積極的に討論・発言していきたいまよう。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法
1. 毎回、前回課題へのフィードバックと振り返りを解説する。 優れた提出内容や改善してほしい内容等を、マーカーや色付けで強調して表彰や注意喚起をする。 モチベーションアップにつながるだろう。 2. 毎回、全体的な状況や一部代表的な課題を見本として提示する。 双方向・多方向的な考える学習型授業の醍醐味を理解して、互いに勉強しよう。 3. 毎回、自分の学習成果のチェックだけではなく、他人の意見や考え、先生のコメント・説明をも確認できる、PDCAのスパイラルアップ過程を通じて、毎回自分のやる気にもつながり、自己成長を実感できる。 4. 毎回、自分の学習成果のチェックだけではなく、他人の意見や考え、先生のコメント・説明をも確認できる、PDCAのスパイラルアップ過程を通じて、毎回自分のやる気にもつながり、自己成長を実感できる。

評価の基準
1. 期末試験（3日間・レスポシ課題提出式）の1回分（100点満点）＋平日発言プラス〆点数で総合的に判定する。 2. 期末試験（レスポシ課題提出式）の中身である、内容・要領・期間・時間等について、リュウカポータルとキャンパスクロスの両方に提示する。 平日、真面目に取り組んでいない・成績に期待できない・ネット等の不具合対策を愚慮したうえで、余裕をもって、〆切まで期間中に提出してください。 特に、〆切の間に、ネットなど不具合の可能性もあるので、時間の余裕をもって提出してください。 一切の提出は認めない。 レスポシ以外での提出は認めない。 土日休日等、返信が遅くなり、次の授業日にする。

履修にあたっての注意・助言他
先輩からの以下の意見是非参考してください。 1. 「五感に触れる臨場的な授業」； ――充実した内容、効率的な進め方で知識と能力を身につけられる！ 2. 「この授業を1つの企業とすると、CEOに李先生で社員が私たち生徒だとすると、社員に意見する場を与えて、それを共有し、すぐに実行する。優良企業だと思います。モチベーションがとても高く維持できています」。 ――一方的な授業ではなく、交流の場でもある！ 3. 「いま4回生だがもっと早くこの授業に出会いたかった」； ――知識そのものだけではなく、知識を獲得する姿勢と方法を学べる！ 4. 「単位を取ることはとても大切ですが、この授業では、それだけのための授業ではないと私は、強く思います」 ――単位と知識能力を両立して楽しく取ろう！

教科書				
.使用しない。.				

参考文献
.決定版 大國の興亡—1500年から2000年までの経済の変遷と軍事戦争（上巻）. ボール・ケネディ 笠原社：決定版（1993）2/11. 452ページ 971 4794204914
.米中戦争前夜—新田大衛を衝突させる歴史の法則と回避のシナリオ. グレアム・アリソン（著）、船橋 洋一・序文（その他）、藤原 敏子（翻訳）（2007）11/2. 424 2200 4478103313
.文明の衝突. サミュエル・ハンチントン（著）、鈴木 主税（翻訳）（1998）6/26. 3080 4087732924

その他
1. 毎回、前回課題へのフィードバックと振り返りを解説する。優れた提出内容や改善してほしい内容等を、マーカーや色付けで強調して表彰や注意喚起をする。モチベーションアップにつながるだろう。 2. 「授業プリント」、「先生説明版」と「映像ビデオ版」等配布資料は必ず各自キャンパスクロスからアクセス・ダウンロード・印刷等を済ませて教室まで持ってきてください。 厳重注意：本授業はリュウカポータルには、最初の授業連絡通知と最後の期末試験通知の2回だけを表示するが、その以外の授業資料や授業連絡・レスポシ課題提出等の連絡を一切掲示しない。 代わりにすべての資料・連絡・レスポシ課題等はキャンパスクロスに連絡・公開する。 不明の場合、大学のメールでの相談を利用してください。 3. 授業はPPT・プリント資料、映像、討論で進む。プリントには穴埋めが相当設けられ、授業中のPPTを確認しながら記入してください。

授業計画
授業内容計画概要。注：（ ）内はビデオ内容。 1 イントロダクション：進め方・出席・単位等（56分中攻防の最初線） 予備内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たうえで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（60分） 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（180分） 2 グローバル競争概要（ヨーロッパ貴族の地北欧スウェーデン・イタリ） 予備内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たうえで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（60分） 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（180分） 3 歴史の示唆：トウキョーイデスの真（米中貿易戦争の真実、その時日本は？） 予備内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たうえで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（60分） 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（180分） 4 国の競争地位（イー第一路vsインド太平洋：日系企業のインドへの進出） 予備内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たうえで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（60分） 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（180分） 5 産業の競争地位（アフリカのタンザニア：日系中古車と清潔水） 予備内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たうえで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（60分） 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（180分） 6 企業の競争地位（シンガポール：国が丸ごと実験場） 予備内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たうえで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（60分） 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（180分） 7 イノベーション競争（人工知能AIの地獄：末日での運用拡大） 予備内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たうえで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（60分） 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（180分） 8 ベトナムとアセタン（ベトナムへの日系企業進出 ココロ文具房） 予備内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たうえで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（60分） 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（180分） 9 韓国、台湾（日韓関係も政治経済） 予備内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たうえで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（60分） 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（180分） 10 ポルトガルとスペイン（ユゴロのスペインへの進出） 予備内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たうえで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（60分） 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（180分） 11 オランダとイギリス（アサヒビールへのイギリスロンドへの進出） 予備内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たうえで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（60分） 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（180分） 12 フランスとドイツ（欧州の真面目国、フィラード） 予備内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たうえで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（60分） 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（180分） 13 日本とロシア（ロシアへの進出と現地の奇習慣） 予備内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たうえで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（60分） 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（180分） 14 アメリカと中国（世界の最もリスクの多い地帯） 予備内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たうえで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（60分） 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（180分） 15 まとめ（アメリカvs中国：未来の結核争い） 予備内容：シラバスならびにキャンパスクロスに事前に提示する講義資料を見たうえで、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（60分） 復習内容：講義ノート整理・復習し、授業内容の理解を深めること（180分）

授業形態（アクティブ・ラーニング）			
	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
○	ウ：ディスカッション、ディベート	○	エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（Aシ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
1. 企業や組織の国際運営・グローバル競争の仕組みを自ら主体的な立場から的確に理解できる。共通DP及び業界動向・問題探索・課題提案能力のDPに貢献できる。 2. 身につけた知識、能力・資格等を生かして、組織メンバーと外部関係者とも協力的に働きかける。自ら考えと理解のDPに貢献できる。 3. グローバル競争の戦略立案と実行しながら、現地のニーズにも適応しつつ、柔軟で俊敏に大局的な視野と能力を持つことができる。グローバル分析や改善・解決のDPに貢献できる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
講義を聞くだけではなく、考えてグループワークで喋ったり、発言をする。 映像を見るだけではなく、メモしたり考えたり、レスポシに回答を出し、発言をする。 1. 質問やクイズなど、積極的に考えて、発言をしてみてください。 2. 他人の発言を聞いて、自分も発言できるように授業に臨んでください。 3. 先進的なレスポシなどのシステムを駆使し、リアルタイムで他人の課題結果をグラフなどで確認でき、授業の効率と学習意欲の向上に繋がる。

実務経験の有無及び活用
なし。

備考
学生による評判が高い本授業は以下の特徴があるので、真面目な心構えがあれば是非一度体験してみませんか。 通り串刺しのある授業（そうか！これこそは大学らしい授業だ！）。 静かで受講できる環境（私語はほとんどない！）。 他校ではない（通期の時間さえも4！）。 みんな一緒に互いに勉強する（自力・他力、皆の力を感じるう！）。